

スタートアップガイド

856-127841-001-01 2008年11月 初版
+ 8 5 6 - 1 2 7 8 4 1 - 0 0 1 - 0 0 +

使用上のご注意

本製品を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。本書は大切に保管してください。
本製品を安全に正しく使用するために必要な情報が記載されています。本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本装置をご使用になる前に本書およびユーザーズガイドを必ずお読みください(ユーザーズガイドは添付のDVDにPDFファイルとして格納されています)。また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

本製品の利用目的について

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。ご使用に際しましては、下記の点につきご注意くださいませう、よろしくお願いたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関する不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。
弊社相談窓口：ファーストコンタクトセンター 電話番号：03-3455-5800

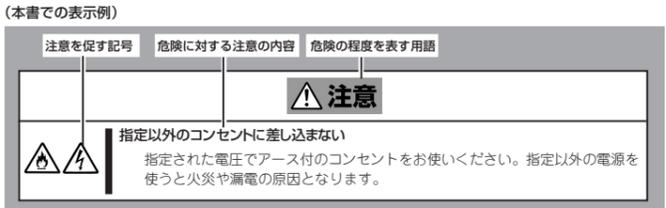
安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: 電源プラグを抜く



本書およびラベルで使用する記号とその内容

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	破裂のおそれがあることを示します。		

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

安全上のご注意

	警告	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない	万一、煙、異臭、異音が生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない	通気孔やフロッピーディスクドライブ、光ディスクドライブなどのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

	注意	海外で使用しない 本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。本装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。
	装置内に水や異物を入れない	装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

	警告	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
	アース線をガス管につながらない	アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。
	電源プラグを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない	アース線の取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままアース線に触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

注意

	指定以外のコンセントに差し込まない	指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様と合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。
	たこ足配線にしない	コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
	ケーブル部分を持って引き抜かない	ケーブル部分を抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。
	中途半端に差し込まない	電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	指定以外の電源コードを使わない	本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 ● コード部分を引っ張らない。 ● 電源コードをはさまない。 ● 電源コードを折り曲げない。 ● 電源コードに薬品類をかけない。 ● 電源コードをねじらせない。 ● 電源コードの上にもものを載せない。 ● 電源コードを束ねたまま使わない。 ● 電源コードを改造・加工・修復しない。 ● 電源コードを踏まない。 ● 電源コードをステープラなどで固定しない。 ● 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
	添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない	添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

	注意	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント基板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。ご不明の点は販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
--	-----------	---

安全上のご注意 - つづき -

	注意	指定以外の場所に設置・保管しない 本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。 ● ほこりの多い場所。 ● 給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ● 直射日光が当たる場所。 ● 不安定な場所。
	電源プラグを差し込んだまま本装置内蔵用オプションやインタフェースケーブルなどの取り付けや取り外しをしない	本装置内蔵用オプションやインタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。
	指定以外のインタフェースケーブルを使用しない	インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 ● 破損したケーブルやコネクタを使用しない。 ● ケーブルを踏まない。 ● ケーブルの上にもものを載せない。 ● ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。 ● 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

	警告	自分で分解・修理・改造はしない 本装置の説明書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	光ディスクドライブの内部をのぞかない	光ディスクドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目には入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えませんが)。
	リチウムバッテリーを取り外さない	本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に濡れたりすると爆発するおそれがあります。また、リチウムバッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡してください。
	電源プラグを差し込んだまま取り扱わない	お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源プラグを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	電源プラグを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない	アース線の取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままアース線に触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

	注意	高温注意 本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどを始め装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。
--	-----------	---

	注意	中途半端に取り付けけない 電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。
	コネクタカバーを取り付けずに使用しない	内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。

運用中の注意事項

	注意	雷が鳴ったら触らない 雷が発生しようときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。
	ペット近づけない	本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。
	装置の上にもものを載せない	本装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。
	光ディスクドライブのトレイを引き出したまま放置しない	引き出したトレイの間からほこりが入り、誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。
	ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない	ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォンジャックに接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。
	巻き込み注意	本装置の動作中は底面(装置を縦置きにした場合)にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

健康を損なわないためのアドバイス

このコラムでは、コンピュータ機器を使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことがらを記載します。身体に負担がかからないよう心がけましょう。

- よい姿勢で作業をしましょう。
- ディスプレイの向きや明るさ(ブライトネス)、コントラストを見やすく調節しましょう。
- キーボードの角度を調節しましょう。
- ときどき軽い体操をするなど、気分転換をはかりましょう。

情報サービスについて

このコラムでは、Express5800シリーズに関する情報サービスについてお知らせします。

- <http://nec8.com/>
Express5800シリーズに関するさまざまな情報が盛りだくさんのホームページです。ぜひお立ち寄りください。
- <http://club.express.nec.co.jp/>
Express5800シリーズをご利用のお客様を対象にさまざまな特典やサービスを提供するClubExpressのホームページです。お客様登録や登録の変更もできます。



- <http://www.fielding.nec.co.jp/>
NECフィールドング(株)のホームページです。メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。

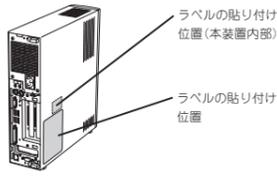
また、Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよく確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター
TEL. 03-3455-5800(代表)
受付時間 / 9:00~12:00、13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

その他
本装置を安全に正しく取り扱うための説明や注意事項は、オンラインドキュメントの「ユーザーズガイド」で詳しく記載されています。

警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが表示されています(警告ラベルは本装置に印刷されているか、貼り付けられている場合があります)。これは本装置を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れている、本装置に印刷されていないなどしているときは販売店にご連絡ください。



製品の譲渡と廃棄について

ハードディスクドライブ内の大切なデータを完全に消去していますか? OS上からは見えなくなってもハードディスクドライブ上に残っている場合があります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(共有有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。

- 第三者への譲渡について
本装置を第三者に譲渡(または売却)するときは、本書および添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントも一緒に譲渡してください。
 - 消耗品・本装置の廃棄について
本装置およびハードディスクドライブ、フロッピーディスク、DVD/CD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自自治体へお問い合わせください。なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本装置と一緒に廃棄してください。本装置に搭載されているバッテリー(右図参照)の廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
-

スタートアップガイド

箱を開けてから装置を使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

はじめに表面の使用上のご注意を必ずお読みください。安全に関する大切な注意事項が記載されています。

*本製品を安全に取り扱うための注意事項より詳しい説明が記載されている「ユーザーズガイド」は添付の「EXPRESSBUILDER」DVDの中にPDFファイルとして格納されています。

安全に関するご注意

装置をセットアップする前には、表面の使用上のご注意をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

警告

- ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 内蔵型オプションの取り付け・取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- 雷が降り出したら電源コードに触らないでください。雷による感電のおそれがあります。
- 本書および「ユーザーズガイド」に記載されている内容を除き、分解・修理・改造を行わないでください。

注意

- 持ち運びの際は装置の底面をしっかりと持って運んでください。
- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧で、アース付のコンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。

- お客様登録カード ● 保証書 ● EXPRESSBUILDER*
- バックアップCD/バックアップDVD ● 電源コード
- (購入したモデルによって異なります) ● スタバイザ(2個1組)
- 増設ハードディスクドライブ用ネジ ● スタートアップガイド(本書)

重要 添付のDVD(「EXPRESSBUILDER」や「バックアップDVD-ROM」)は、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

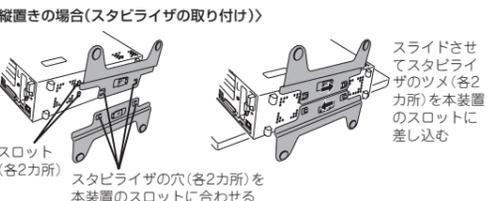
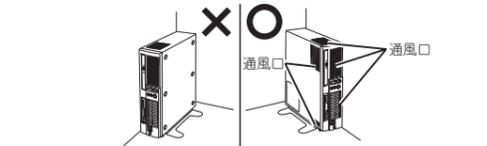
*「EXPRESSBUILDER」DVD内にはユーザーズガイドが格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のPCへインストールしておいてください。

Step 2 適切な場所に設置する

本装置の設置場所を決めます。



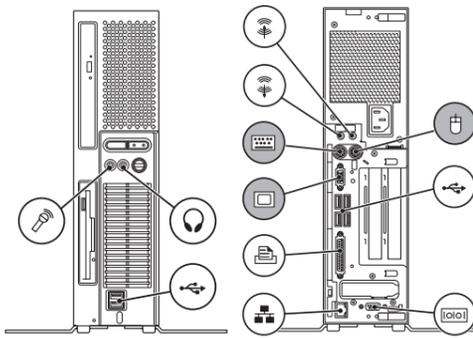
〈通風口について〉
本装置の通風口がある面が壁やものでふさがれるような設置はできません。本体内部の冷却効果を保持するためです。



Step 3 ケーブルを接続する

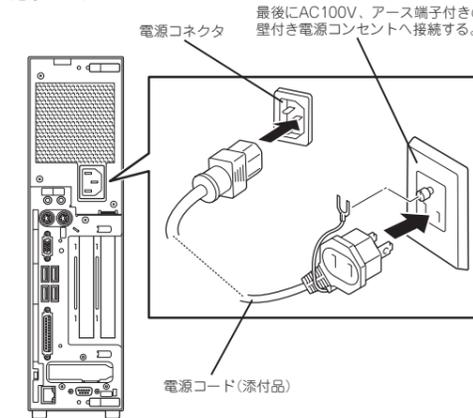
ケーブルを本装置にあるコネクタに接続します。

〈インタフェースケーブル〉



- ヘッドホン
 - マイク
 - USB機器(Hubなど)
 - キーボード*
 - ディスプレイ*
 - プリンタ
 - LAN機器(Hubなど)
 - ライン端子を持つ機器(ライン入力端子)
 - ライン端子を持つ機器(ライン出力端子)
 - シリアルインタフェースを持つ機器
- *初めてのセットアップでは、*で示す機器だけを接続する。その他の機器は、オペレーティングシステムのセットアップを完了してから接続する。

〈電源コード〉



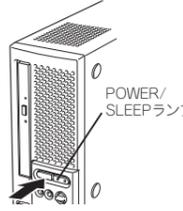
Step 4 電源をONにする

前面のPOWER/SLEEPスイッチを押して電源をONにします。電源ON後にオペレーティングシステムのセットアップが始まります。本装置のハードディスクドライブには、Windows Vista Businessまたは、Windows XP Professionalがインストール済みです(別売のディスプレイボードを取り付けている場合は、ディスプレイボードに添付のドライバディスクも用意しておいてください)。

重要 電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージの内容やビープ音の鳴り方をメモして保守サービス会社に連絡してください。

- 1 本装置のフロッピーディスクドライブや光ディスクドライブにディスクがセットされていないことを確認する。
- 2 ディスプレイの電源をONにした後、本装置前面のPOWER/SLEEPスイッチを押す。ディスプレイの画面には「NEC」ロゴが表示されます。
- 3 装置の構成やシステムの用途に応じて、BIOSのセットアップをする。

オプションのUPS(無停電電源装置)を接続している場合や管理ソフトウェアとの機能の連携をとる場合にシステムBIOSの設定を変更します(通常は出荷時の状態で問題ありません)。設定を変更するために、起動後、すぐに<F2>キーを押してください。BIOS(Basic Input Output System)セットアップユーティリティ「SETUPユーティリティ」が起動します。

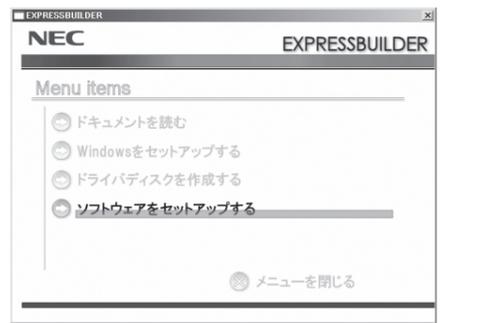


Step 5 バンドルソフトウェアのインストールとセットアップをする

Windows2000+IE6.0、WindowsXP、VistaまたはWindows Server 2003 が動作しているコンピュータ上で添付の「EXPRESSBUILDER」DVDをセットすると、オートラン機能により自動的にメニューが起動します。「EXPRESSBUILDER」にはExpress5800シリーズが提供するシステム全体の運用管理を行うための各種ユーティリティが収録されています(オペレーティングシステムのセットアップの際に選択したアプリケーションはハードディスクドライブにインストール済みです)。これらのユーティリティを利用したTCO(Total Cost of Ownership)の削減、重大障害の未然防止、障害からの早期復旧を実現するために、ご使用になる環境に合った状態にセットアップしてください。

- 4 画面に表示された「ようこそ画面」内の説明を読みながらセットアップを進める。
オペレーティングシステムのセットアップが始まりますここでお客様固有の情報をセットアップなどの画面が表示されます。メッセージに従ってセットアップを進めてください。
- 5 セットアップを完了し、システムにログオンしたら、ネットワークの設定をする。
本装置標準装備のネットワークドライバの設定をします。
重要 詳しくは「EXPRESSBUILDER」DVD内の「ユーザーズガイド」を参照してください。
- 6 障害処理のためのセットアップをする
障害が起きたとき、より早く、確実に障害から復旧できるようにあらかじめメモリダンパやワトソン博士のセットアップをしておいてください。
重要 詳しくは「EXPRESSBUILDER」DVD内の「ユーザーズガイド」を参照してください。
- 7 システム情報のバックアップをとる。
障害や故障による部品交換や修理の後にシステム情報を記録したディスクからリストア(復旧)することにより運用していたときと同じ状態にシステムを戻すことができます。
重要 詳しくは「EXPRESSBUILDER」DVD内の「ユーザーズガイド」を参照してください。

* 本装置は購入時のオプターによって光ディスクドライブには、CD-R/RW with DVDドライブ、DVD-ROMドライブ、DVD Super MULTIドライブのいずれかが搭載されています。本書ではこれらをまとめて「光ディスクドライブ」と呼んでいます。



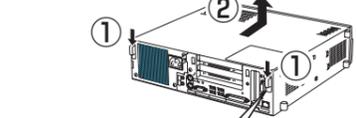
ハードウェアクイックリファレンス

ルーフカバー

スタバイザを取り外し、警告ラベルのある面を上にして静かに置く。

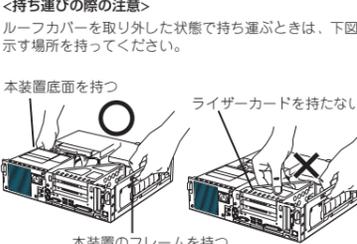


ロックを解除して取り外す。

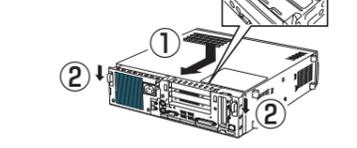


重要 フロッピーディスクドライブを搭載している装置の場合、ルーフカバーの取り付け/取り外しをするときに、ルーフカバーがフロッピーディスクドライブの「Eject」ボタンに引っかからないよう注意してください。

〈持ち運びの際の注意〉
ルーフカバーを取り外した状態で持ち運ぶときは、下図に示す場所を持ってください。



〈取り付け〉
ライザーカード上のラインにルーフカバーの端が合う程度にして本装置にカバーを置く。このラインにルーフカバーの端が合う程度にして本装置にカバーを置く。スライドさせた後、ロックする。

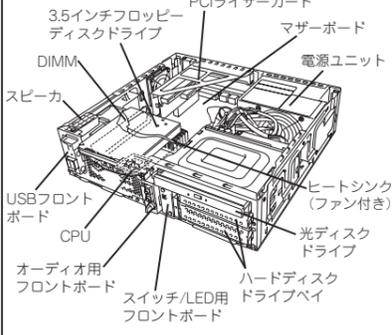


商標について
EXPRESSBUILDERとESMPRO、ExpressPicnicは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Vista、Windows Server、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

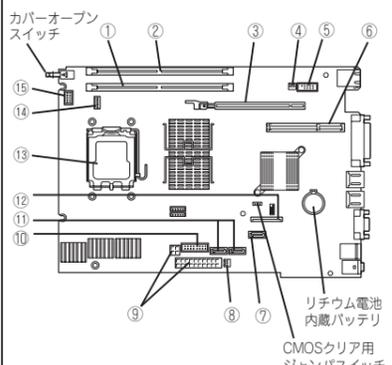
© NEC Corporation 2008
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

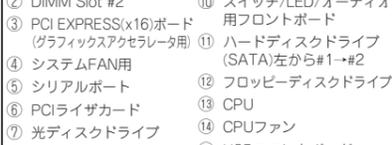
システム構成



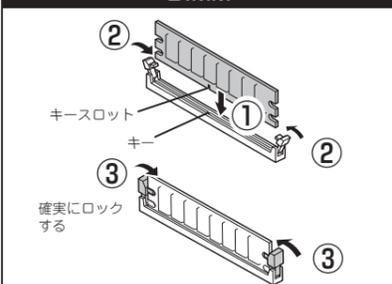
マザーボード上のコンポーネント



〈コネクタ〉

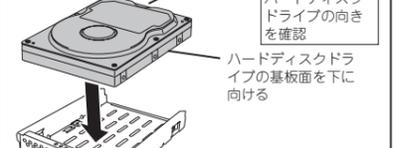


DIMM



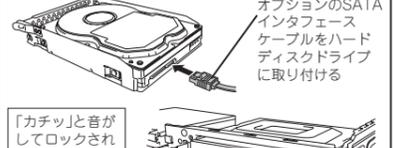
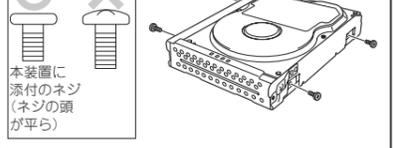
ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブを取り付ける前に光ディスクドライブを取り外すと取り付けやすくなります。詳しくは「EXPRESSBUILDER」DVD内の「ユーザーズガイド」を参照してください。



ハードディスクドライブとドライブキャリアのネジ穴を合わせて、装置添付のネジ4本でハードディスクドライブを固定する。

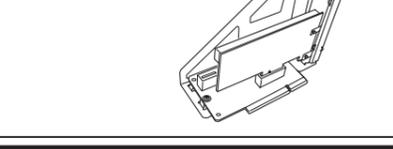
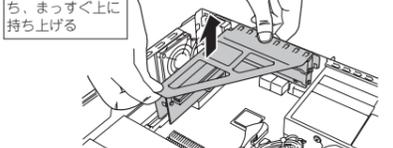
ハードディスクドライブを固定する。



ハードディスクドライブを本体標準のディスクアレイで使用する場合は必ず、BIOS SETUPの「Advanced」メニューの「Advanced Chipset Setup」->「Configure SATA#1 as」を「RAID」に設定してください。また、本体標準のディスクアレイを使用しない場合は必ず、「Advanced Chipset Setup」->「Configure SATA#1 as」を「AHCI」に設定してください。詳しくは「EXPRESSBUILDER」DVD内の「ユーザーズガイド」を参照してください。

PCIボード

PCIライザーカードのフレームを持って、持ち上げて取り外す。



PCI EXPRESS(x16)ボードスロット(グラフィックスアクセラレータ用)

グラフィックスアクセラレータボードの取り付けは、シリアルポート用ケーブルやリアファン用ケーブルを破損しないようにケーブルをよけて取り付けてください。また、取り付け前にDIMMを取り外してください。詳しくは「EXPRESSBUILDER」DVD内の「ユーザーズガイド」を参照してください。

ネジ1本を外し、ブラックカバーを取り外す。

ロックレバーを解除する

ボードの端子部分に触れない

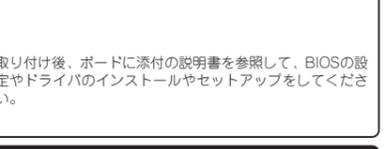
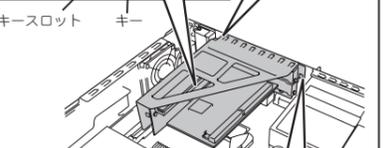
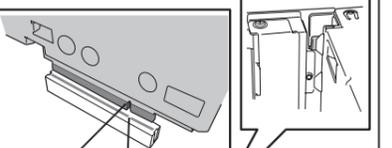
ロックレバーにボードのエッジが引っかかっていることを確認

キースロット

キー

PCIボード

PCIライザーカードのキー溝とマザーボード上のソケットのキースロットを合わせる



取り付け後、ボードに添付の説明書を参照して、BIOSの設定やドライバのインストールやセットアップをしてください。